



基本施策 3-5 学校教育の充実

施策51

子どもの学びを支える教育環境の充実

■めざす姿(施策の目的)

学校施設の老朽化対策や大規模改修が計画的に進められるとともに、時代の変化に応じた教育環境の整備が継続的に行われています。また、おいしい給食を提供できる環境の整備も行われ、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送ることができています。

■現状と課題

児童・生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう、校舎・体育館などの非構造物を含めた耐震化を実施していますが、建築後40年以上を経過した建物が7割以上であることから、老朽化対策として計画的な施設の更新や既存校舎などの長寿命化を図ることが求められています。また、児童・生徒一人1台端末の整備などが急激に進み、教育を取り巻く環境が大きく変わる中で、ICT*を活用した教育活動を推進するための環境整備を行うとともに、引き続き計画的に備品や設備の更新を行っていく必要があります。

給食センターでは、全ての児童・生徒が楽しく給食時間を過ごせるよう、必要となるアレルギー対応を含め、安全でおいしい学校給食を提供できる体制を整備する必要があります。

■施策の方向性

- 学校施設については、学校施設改築・長寿命化改修計画や大規模改修整備方針に基づき、計画的かつ着実な老朽化対策を実施していきます。
- 教育環境の充実に資するために、老朽化した備品については計画的に買換えを進め、更新を図っていきます。また、子どもの力を最大限に引き出す学びを実現するため、ICTを効果的に活用した教育活動が進められるよう、学習環境を整備していきます。
- 給食センターでは、安全・安心でおいしい給食を提供できるよう、学校給食衛生管理基準等に適合した施設の管理運営を行います。



府中市立学校給食センター

■指標

指標名	基準値	目標値 (R7)	指標の説明
校舎のトイレで便器の洋式化率100%となった学校の割合	0% (R2)	100%	校舎のトイレについて、「便器の洋式化」等改修が実施済みの学校の割合
タブレットを使用した授業の実施率	—	100%	学年別、教科等別の実施割合

■主要な取組

取組名称	令和4年度から7年度までの取組内容
学校施設老朽化対策事業	学校施設改築・長寿命化改修計画に基づき、老朽化対策として、学校施設の改築を進めていきます。改築に当たり、バリアフリー化を含む、ユニバーサルデザイン*21に配慮するとともに、災害時における避難所運営も見据えた整備を行います。
学校施設整備事業	大規模改修整備方針に基づき、老朽化対策の実施時期が遅い学校については、便器の洋式化、床の乾式化等の校舎トイレの改修や、屋上・屋根の防水に係る改修など、経年劣化に伴う大規模改修を計画的に実施します。
教育財産の管理と活用	小・中学校の施設・設備を常に良好な状態において管理し、その目的に応じて効率的に運用していきます。また、ICTを活用した教育を推進するための基盤となる環境を整備していきます。
学校給食運営事業	学校給食衛生管理基準や大量調理施設衛生管理マニュアルに適合した施設運営を行うことで、安全・安心でおいしい給食の提供を継続します。

■協働により推進したい取組

- 学校改築の設計時における「新しい学校づくり」の検討に関すること。

■SDGsとの関連

